記載例　　　各医療機関の体制・機能に応じて、独自に作成される際の

参考にご利用ください。

**発熱患者等の受入を行う際の動線分離の方法等の**

**内容を盛り込んだ手順書について**

|  |
| --- |
| 文例（参考）１．時間分離・発熱患者には、来院前に電話連絡を求めて来院時間を指定、事前に受診体制を準備する。・発熱患者が多数来院する際は、その他患者と異なる診療時間帯を設けるなど、重症化リスクの高い定期通院患者への感染リスクを下げる方策をとる。２．空間分離・自家用車で来院した場合には、自家用車内で待機してもらう。・発熱患者は受付後、隔離スペース（パーテーションによる簡易な分離等）へ誘導する（来院時にはサージカルマスクを着用してもらう）。・発熱患者とその他の患者で、異なる診察スペースを使用する。・発熱患者が多数来院する等、診療所内で隔離スペースや発熱患者用診察スペースの設置が困難な場合は、駐車場など屋外に、待合スペースや検体採取スペース、診察室スペースを設置する（プライバシーに配慮）。 |